



中国 M2M 市场通信

Volume 4 No.3

2015年3月



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F
TEL: 045-476-5170(代) FAX: 045-476-5171
URL: www.cathay.jp



中国 M2M 市場通信 '15.03 月

【目次】

産業研究

- [スマート工場と物聯網、工信部の取組み](#)

業界利用

- [Galanz、中国科学院と連携した G+スマートファミリ構想](#)

モバイルモノのインターネット

(今号では記事はありません)

スマート都市

- [スマートシティ国家基準、3 年後に登場](#)

業界動向

- [Huawei と NXP、物聯網開発提携契約を締結](#)

新製品

- [Intel、物聯網市場向けチップセット Curie を発表](#)
- [世界初、工業物聯網用 SIP チップ CY2420S](#)

展示会速報

- [2015 第二回中国スマートシティ技術革新および応用合作交流大会](#)

産業研究

■ スマート工場と物聯網、工信部の取組み

3月3日、工信部は《2015年素材産業の構造改革要点》を発表した。

要点は下記4点となっている。

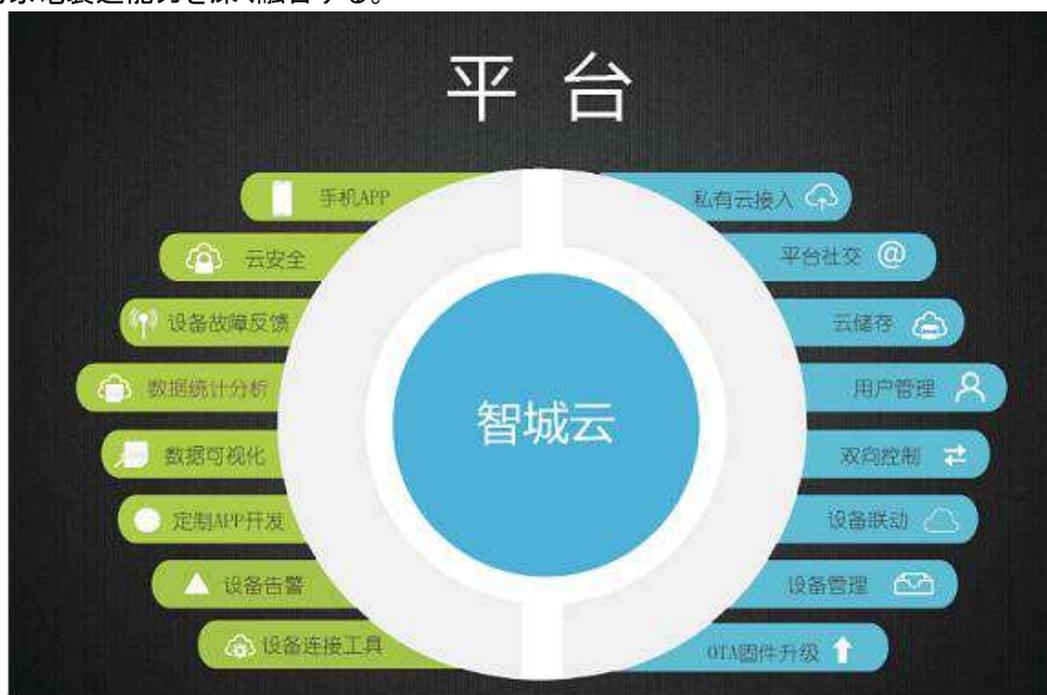
1. 石油化学、鉄鋼、非鉄金属、建築材料などの分野を対象に、デジタル鉱山化を推進するための物聯網パイロット事業
2. 生産プロセスをデジタル制御化するコア技術の開発
3. 重要な工程のロボット化
4. 電子化学品、3Dプリンタ用新素材などの開発

また、素材産業ビッグデータプラットフォームの構築をサポートし、ビッグデータの業界利用のサポートを行う。

業界利用

■ Galanz、中国科学院と連携したG+スマートファミリ構想

3月28日、Galanzと中国科学院計算技術研究院は、「G+スマートファミリ白書(V1.0)」を発表した。G+スマートファミリ戦略プラットフォームをベースに、物聯網やクラウドコンピューティングおよびビッグデータ分野での中国科学院が持つ優れた能力と、Galanzの高度な白物家電製造能力を深く融合する。

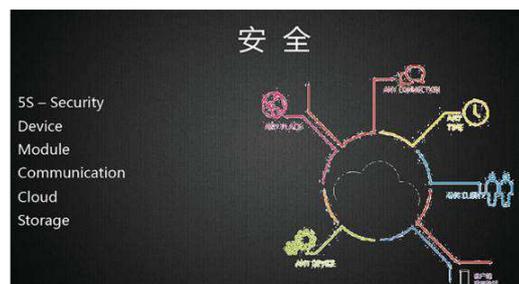
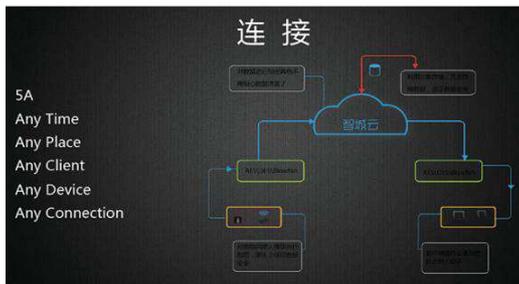




Galanz の G+スマートファミリ戦略プラットフォームは、全ての Galanz 家電製品をクラウドサービスプラットフォームに接続することをサポートする。クラウドサービス、セキュアなアクセス技術、スマート物聯網技術およびリアルタイム情報転送技術などの情報技術を統合した、“智城雲”というデータセンターにより、同時に百万件の処理をする。

Galanz の G+スマートファミリ戦略プラットフォームは、製品稼働状況やユーザ個々の習慣をデータ分析し、製品改善提案をその分析結果に基づき提案できる。また、Galanz の G+スマートファミリプラットフォームはオープン的なプラットフォームで、他のスマートハウスペンダーも利用可能となっており、多くの家電ベンダーのスマート化への取り組みを支援できる。業界の健全なECOシステムを構築し、全中国の家電業界をグレードアップすることができるとしている。

Galanz の G+スマートファミリ戦略プラットフォームは、5S と呼ぶ(デバイス、モジュール、コミュニケーション、クラウド、ストレージ)の全データリンクにおけるセキュリティ対策を施し、真の 5A (Any Time, Any Place, Any Client, Any Device, Any Connection) 接続が出来、常にユーザビュアの提供ができる。



Galanz の G+スマートファミリ戦略プラットフォームは、2014 年 6 月に稼働し始めており、初期プラットフォームは今年中に構築完了予定となっている。

スマート都市

■ スマートシティ国家基準、3 年後に登場

国家基準委員会は、国家スマートシティ標準化促進チーム、全体統括チーム及び専門コンサルチームを設立し、スマートシティ国家基準体系を整備しており、3 年以内に発表する計画となっている。

現在、スマートシティの評価指標と評価体系を策定中であり、それに基づいたスマートシティ総合評価を全国で行い、建設や管理の基準を策定する。また、周辺国、地区とのスマートシティ合作をよりよく強化し、日本、韓国、インドなどの国とのスマートシティ国際合作を深化させる。

業界動向

■ Huawei と NXP、物聯網開発提携契約を締結

コンサルタント会社 IHS の予想では、2025 年までには「インダストリー 4.0」関連で、80 億のデバイスがインターネットに接続する。中国は物聯網市場の主導的地位を占めるため、今後 3 年間で 1.2 兆ドルが投資され、全国の産業基地が近代化するとされる。

Huawei と NXP はその実現を支えるため、物理レーヤ、ネットワークレーヤ、ネットワークセキュリティの分野における合作を展開する。その合作は、Huawei の ICT インフラと NXP の安全な接続ソリューションを深く融合させ、工場の自動化、物流 4.0、安全な無線接続およびセンサーネットワークなどの分野を開拓するとしている。

新製品

■ Intel、物聯網市場向けチップセット Curie を発表

モバイル市場で ARM の後塵を拝している Intel は、物聯網および Wearable デバイス市場でリードを築くため、昨年物聯網部門を設立した。Intel の物聯網部門は、先日 Curie というモジュールを発表した。そのモジュールは、超低電圧駆動で 6 軸センサーおよび加速度センサーとジャイロスコープを搭載し、80KB の SRAM と 384KB のフラッシュメモリを内蔵している。アプリケーション CPU と Wi-Fi は搭載せず、BT のみ対応している。

Curie のターゲットデバイスはスマートウォッチだけではなく、プレスレット、医療監視設備、セキュリティトークンなど、処理能力をあまり要求しない用途も目指している。

Curie の競合は ARM チップセットではなく、ARM を組み込んだマイクロコントローラや、スマートセンサーおよび低消費電力の無線通信チップセットである。

今、多くの AndroidWear やスマートウォッチはクアルコムの Snapdragon CPU を採用しており、待機時間の短さや、大きい形状が問題となっており、その部分で優位性を持っているという。

Curie はまた、フィットネストラース用途として、ディスプレイのない高級スマートウォッチやスマート指輪、スマートネックレスなどにも適しているという。



■ 世界初、工業物聯網用 SIP チップ CY2420S

SIP チップ CY2420S は、重慶郵電大学と台湾達盛電子株式会社が共同開発した、情報交換及び駆動制御の両機能を集積したチップセットであり、約 1 センチ角のサイズである。

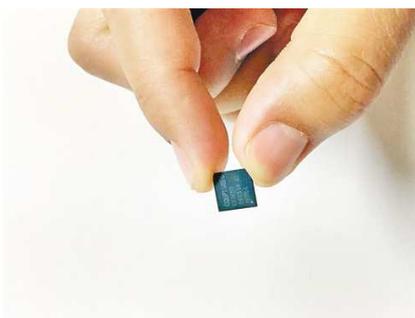
“そのチップセットを内蔵した生産設備は、互いに無線でコミュニケーションし、生産ライン



の効率を高められる”と、重慶郵電大学自動化学院王院長は述べた。更に、SIP チップセットの開発成功により、将来スマート工場の構築にキーテクノロジーを提供している。ドイツが「インダストリー4.0」というコンセプトを提案すると、製造業のスマート化が進み、スマート工場建設がトレンドとなった。ただ、現時点ではほとんどの工場生産ラインが“有線ネットワーク+コントロール”の組み合わせである。有線ネットワークの設備コストは非常に高く、自動化システムインストール、メンテナンスを含めた全体コストの60%を占めている。無線ネットワークへの切り替えを、多くの企業が望んでいた。

“四聯集団”の生産ラインでの試行により、そのチップセットを活用した設備は、従来の処理速度より50%アップし、電力消費も半分に下がった。また、信頼性も優秀で、ネットワークレスポンスおよび干渉抵抗性も優秀だとのこと。

現在、世界の主流工業無線規格として、アメリカのISA100.11a、欧州のWirelessHARTおよび中国のWIA-PAがあり、CY2420Sは世界初で唯一、その3規格に適合するSIPチップ製品である。関係認証も申請中であるとのこと。



展示会速報

■ 2015 第二回中国スマートシティ技術革新および応用合作交流大会

会場：深セン展覧中心

会期：2015年4月9日

主催：中国スマートシティ建設投資連盟、中国スマートシティプロ委員会、中国電子機材総公司、中国PPP研究院、中国スマートシティ発展促進連盟

会議規模：260人

参加対象：政府部門および関連機関トップ；スマートシティ専門家、学者；スマートシティ設計企業、クラウド、ビッグデータ、物聯網企業；セキュリティ、スマートビル、スマートファミリ企業；スマート金融、医療企業；不動産開発と管理企業。

会議主要テーマ：スマートシティ建設でのPPPモデルの検討、他

URL：http://www.qianjia.com/html/2015-03/18_246019.html

- ご愛読ありがとうございました -